

TJB 学生編集部特集：新入生歓迎委員会

新歓後記

富士 路花（筑波大学 生物学類 2 年、新歓委員学類パーティ係班長）

入居手伝いに始まり、顔見せ、オリエンテーション、花見、学類パーティー、そして合宿。

半年前に新歓委員を組織した時には、ずっと先の話だと思っていたのに、いつの間にかあつという間に終わってしまいました。

全ての新歓行事に参加して、（たぶん翔一よりも参加したよ(笑)）お手伝いして、時にはお進の指揮をとったりもさせていただきました。正直、計画通りにすすめられなかったりトラブルが続いたりして、辛くて苦しくて、どうして自分はこんなお金も出ないボランティア活動してるんだろう、と立ち止まりたくなくなってしまったことも、何度かありました。けれどその度に、一緒にがんばろうと手を差し伸べてくれた他の新歓委員や、新歓行事が楽しい、と嬉しそうに言ってくれる一年生に励まされて、また最高の新歓を作るために頑張りが続けたことが出来ました。

新歓行事はゆきだるまみたいなものです。徐々に大きくして、積み重ねて、きれいに丸く整えて……汗だくになって、たくさん時間をかけてやっと完成するのに、次の日には溶けてなくなってしまいます。さみしいけれど、楽しかった思い出や、みんなの笑顔はこころに残りつづける。

来年のゆきだるまはどんな風になるのでしょうか。

最後になりましたが、この場を借りてこのゆきだるま作りと一緒に関わってくれた方々に、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

アドバイスをくれた先輩方、事務の方や学類パーティーに参加して下さった先生方、また、新入生の皆さん。皆さんのお力と活躍がなければ、あんなに楽しい学類パーティーはつくれませんでした。ありがとうございます。

新歓委員学類パーティー係のみんな、パーティー当日スタッフをしてくれたみんな、本当にありがとう。頼れる仲間がたくさんいて、つくづく自分は幸せ者だなと感じました。

それから、新歓委員長。翔一がいなかったら、新歓はこんなに成功しなかったと思う。翔一の力に何度助けられたか分からない。お前が新歓委員長でよかった。ありがとう。

Communicated by Shinobu Satoh, Received August 13, 2008.